

ピックアップ★

子どもに寄り添う 特別支援教育



特別支援教育は、障害のある子どもたち一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

子どものニーズに応じて
さまざまな学びの場があります

特別支援学校

視覚や聴覚、身体等の障害のため、学習上または行動上の困難がある子どもが、専門的な教育を受けられます。

特別支援学級

小・中学校の中にあり、障害の種類に応じた、少人数による指導を受けられます。

通級による指導

比較的障害の軽い子どもが、小・中学校の通常の学級に在籍しながら、週に何時間か通級指導教室※において、障害の状態に応じた指導を受けられます。

※市町村によって設置状況が異なります。

詳しくは、各学校や各市町村教育委員会へお問い合わせください。

子どもの発達が心配なときは…

早めに子どもの特性に気づき、早い段階から適切な支援を受けることで、その子の持つ可能性を引き出すことができます。



お子さんの発達や行動等で心配なことがありましたら、まずは学校にご相談ください。

お子さんの発達の状態を踏まえた上で、最適な学びの場について考えるお手伝いをさせていただきます。

また、裏表紙の「相談窓口」もご利用ください。

県教育委員会では、平成30年度から県立高校においても、通級による指導を実施できるよう検討中です。

●問い合わせ：特別支援教育課 027-226-4656

文化財ライブラリー

Vol. 8

世紀の大発見の宝庫

金井東裏遺跡・ 金井下新田遺跡

場所：渋川市金井地内
時代：6世紀初頭

金井東裏遺跡、金井下新田遺跡は古墳時代を中心とする遺跡で、榛名山東麓の扇状地上に隣接して位置しています。

発掘調査で、甲を着たまま火砕流に巻き込まれた男性の人骨が発見され、大きな話題となりました。これまでの調査で、住居跡や古墳、畑の跡など、当時の集落の様子がよく分かる遺構

の数々が見つかっています。

発見された人骨や遺物の一部を、渋川市北橘町にある県埋蔵文化財調査センターで展示・公開しています。

県立歴史博物館の企画展でも展示する予定ですので、ぜひご覧ください。

詳しくは次のページへ▶

主な大発見をピックアップ



1. 甲を着た人骨の発見

古墳時代の人骨が、古墳以外の場所で発見されたこと自体が日本で初めて。さらに、甲を着た状態で見つかるのも日本初。

2. 首飾りをした人骨の発見

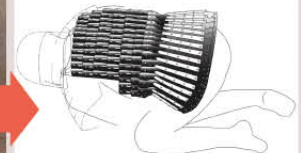
墓以外の場所から首飾りをした人骨が発見されるのは、全国的にも希少な発見。

3. 子馬の骨の発見

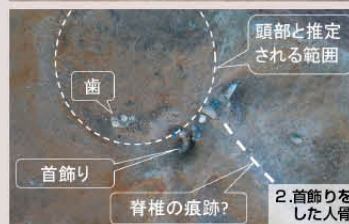
馬の形が分かる出土は全国的にも希少。この地域で、馬の生産を行っていたことがうかがえる貴重な発見です。



1. 甲を着た人骨



復元イメージ図



2. 首飾りをした人骨



3. 子馬の骨出土跡

●問い合わせ：文化財保護課 027-226-4696